

Ⅲ. 血栓症のリスクファクター

3. 肥満と血栓症： 性差が示唆する肥満の本質



兵庫医科大学内科学総合診療科主任教授 新村 健 (Shinmura, Ken)

THROMBOSIS and Circulation

§ 論文のポイント

- [1] 血栓症のリスクファクターとしての肥満の本質は、内臓脂肪蓄積によると考えられる。
- [2] 加齢と共に男女ともに内臓脂肪は増加する。
- [3] 脂肪組織の分布様式には男女差があり、女性に比べ男性で内臓脂肪が蓄積しやすい。
- [4] 心血管病の発症リスクには性差があり、それは体脂肪分布の性差により説明されうる。
- [5] 肥満における性差は、主に性ホルモンの作用による脂肪組織の分布の相違に由来する。

§ キーワード

エストロゲン / 加齢 / テストステロン / 内臓脂肪 / 皮下脂肪